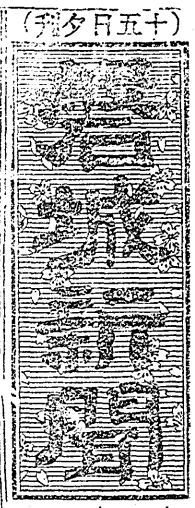
休刊　大祭日第一・第三日曜
定價　一ケ月　二錢　郵税六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢　指定廿錢
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番



工場漫談（上）

北見晴雪

エロ。〈〈〈

エロと言ふ流行語、エロの氾濫だ？

エロと言ふ流行語、エロテックを略した言葉でデクショナリーを繙ひて見ると戀愛的な――戀愛詩、戀愛論、色情の等と言ふ譯が出て來る、併しエロに必ずもこうした意味にのみ用ゐられてゐない、むしろ性的魅力、肉感的、色氣等の方に多く用ゐられる。それで結局イヤトといふに同じに多つて來る。

電車に乘つてもこのエロガールが居る、多分はエロ所有の女が電車に乘つたとすれば其の言ふ所の觀點はそこに集注するエロなればこそである。

多くの男がレヴューなるものを觀る、エロ即ちイヤトに接せんがためである、スカートをあげて下から覗のである。

ドイツ、フランスあたりでは一糸纒はざる若き女達が舞臺に亂舞する、藝術の向上と言ふか？墮落と言はんか？

時代は――三〇年、エロ時代。

エロのない女性は失敗である。

女優、ダンサー、カフエーの給仕から新聞人が創造したステッキガール、そしてストリートガール、女給、雇婦から百貨店の賣娘、バスガール、タイピスト、産婆ならざる職業婦人は凡てエロ發散によつて必ず成功する時代だ。

或いはエロ大家ハY氏と僕はエロガールのクインたるダンサーと語らん爲め尼崎のホールに出かけた事がある。德田秋聲ならざるものは老も若きも何らかの興奮を感じざるを得ない事を經驗した。

キッス進呈――これは大阪の某カフエーの宣傳ビラである。その筋よりお目玉を喰つた事は勿論である。實に「タイム、ツーエン。ね、御賣してゐるやうだ。矢張り「遊んで頂戴、ショート」

南町邊の雀もいゝかも知れぬ。

とエロ女の直接行動がいゝ。

※明日……舊二月十七日
※吉の凶……新月十二日　暦一暦六日

▲一白の人　多少の支障はありても其に屈せず進むべし▲二黑の人　歩調を亂さず自重し進むときは吉日となる▲三碧の人　吉と思ひし事も急に變化を生じ來る注意日▲四綠の人　初めの元氣永續せず次第に緩み勝の日たり▲五黃の人　轉々しく人の口先きに乘らず自信を守べし▲六白の人　柔弱の風を生じなし得る事も

豫告!!!

講談　赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光畫

元祿の快舉は、今も尚、人の頭に勇壯な氣分を植付けつゝある將來も永遠に快舉は勇壯な氣分の源泉となるであらう、其の四十七士中曲折多樣にして變遷の運命の奇なるものは堀部安兵衛武庸にしくはない、取分け彼が浪々の身を、二尺二寸の秋水赤鞘に托した時代は、頗壯な氣分の横溢したのはないのであつた新講談界の巨星桃川燕二氏此の人物を起して縱横に活躍せしむ、其の昭和の新時代の新味ある讀み口は、讀者の心琴を打つて共鳴を得る事疑ひなし更に田村月光畫伯の洗練された麗筆は、紙上に光るであらう（百六十回）

披露
磐城舞子仁井田浦港口
遊覽船二隻新造
關商店
大浦村上仁井田
港口　關正次郎

へ、案内しませうか、すぶ果一得ざる日▲七赤の人の素人さんを御世話しませう、お駕籠、後藤さん、船員の奥さん、御望み次第――」

これ丈あるモスの布でも自慢を起すときは成るべき事も破れを來す。

講談　奉赤鞘高山彦九郎

（188）

中西洋々作
市施長春畫

文治の徹（五）

「喃、高山殿」

嘉膳は、强く〈〈云ひまれながら、うなづきました。

「この事件といふのは、実に「よく仰しやつて下すつた」

「……」

「喃、高山殿、かう申しても私も勤王の志をもつものでございます、されば、あなたさまにはどのやうに口惜しくつてゐらつしやるか、それもよくわかります。けれども、その間には既に一年といふ長い月日が流れてしまいました、すでに居りましたのぢや、拙者はたまでこざいます、勿論昔のことだから忘れてしまいと申し上げるのではございません。一年も早、すぎてゐることですから、これから一日二日遲れても、大勢に影響はあらうとも思はれませぬはわめくやうに口走るのですから、もう二三日に止しました。

「にゝ、そのに心持はようく相分ります」

嘉膳はどこまでもやわらかく、彦九郎の心持ちを抱いてやりました。やさしい母のやうに、兩手の中に抱きかゝへて、心ゆやまでの愛撫と、庇護とを惜しみませんでした。

「さ、こゝにいつまで居つても仕樣がございません」

嘉膳は、やがて氣付いたやうにさういつて。

「あちらへ行つて、心を落着けされませ」

彦九郎の手をとつて、奥の一間にみちびきました。

「とんだ御心配をかけてすみませぬなア」

悲しみの爲めか、はた怨恨の爲めかどんより雲つた眸をあげて、彦九郎は、嘉膳に感謝しました。

程もう時は過ぎてゐる、すべては遲すぎたのぢや』

かういつて、力なくその面――玄關先に腰を落してしまいました。

「いや、決して落膽なされますな、こちらは、正、向ふは邪と、はつきり分つて陣をあげて、彦九郎は、嘉膳に感謝しました。

「その爲に中山卿、正親町卿の閉門がとかれるは思召しますか、松平さまにた會ひなさればた二方が自由になるたもくろみがあるのでございますか」

「……」

「喃、高山殿、かう申しても私も勤王の志をもつものでございます、されば、あなたさまにはどのやうに口惜しくつてゐらつしやるか、それもよくわかります。けれども、その間には既に一年といふ長い月日が流れてしまいました、すでに居りましたのぢや、拙者はたまでこざいます、勿論昔のことだから忘れてしまいと申し上げるのではございません。一年も早、すぎてゐることですから、これから一日二日遲れても、大勢に影響はあらうとも思はれませぬはわめくやうに口走るのですから、もう二三日に止しました。

「にゝ、そのに心持はようく相分ります」

嘉膳はどこまでもやわらかく、彦九郎の心持ちを抱いてやりました。やさしい母のやうに、兩手の中に抱きかゝへて、心ゆやまでの愛撫と、庇護とを惜しみませんでした。

「さ、こゝにいつまで居つても仕樣がございません」

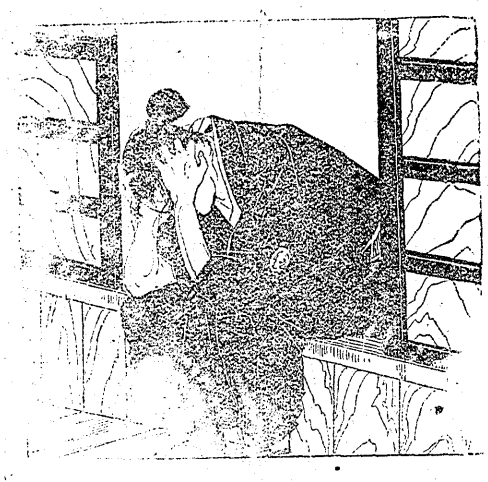
嘉膳は、やがて氣付いたやうにさういつて。

「あちらへ行つて、心を落着けされませ」

彦九郎の手をとつて、奥の一間にみちびきました。

「とんだ御心配をかけてすみませぬなア」

悲しみの爲めか、はた怨恨の爲めかどんより雲つた眸をあげて、彦九郎は、嘉膳に感謝しました。



廣告

増築披露
内科　小兒科　博士　木村小太郎
内科婦人科　X光線科　院主　齋藤齋
入院隨時
相馬郡原町
齋藤病院
電一二九番

平町田町
高久病院
電話五一三番

現代浪界人氣ノ大王
東家燕左工門師
外數名出演
當ル七月十五日一日間限り
毎夜午後五時開演
時節柄大勉强大割引
入場料　大人金三拾錢
聚樂館

暑中御伺申上ます
御家族樣をお連のとき
急を要する御商用のとき
何卒昭和を御願致します
平驛前
昭和タクシー
電三四三

内臓外科
外科一般科
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

吉田眼科病院
平町紺屋町

貸切は
磐城タクシーへ
電話四五四番
平驛前

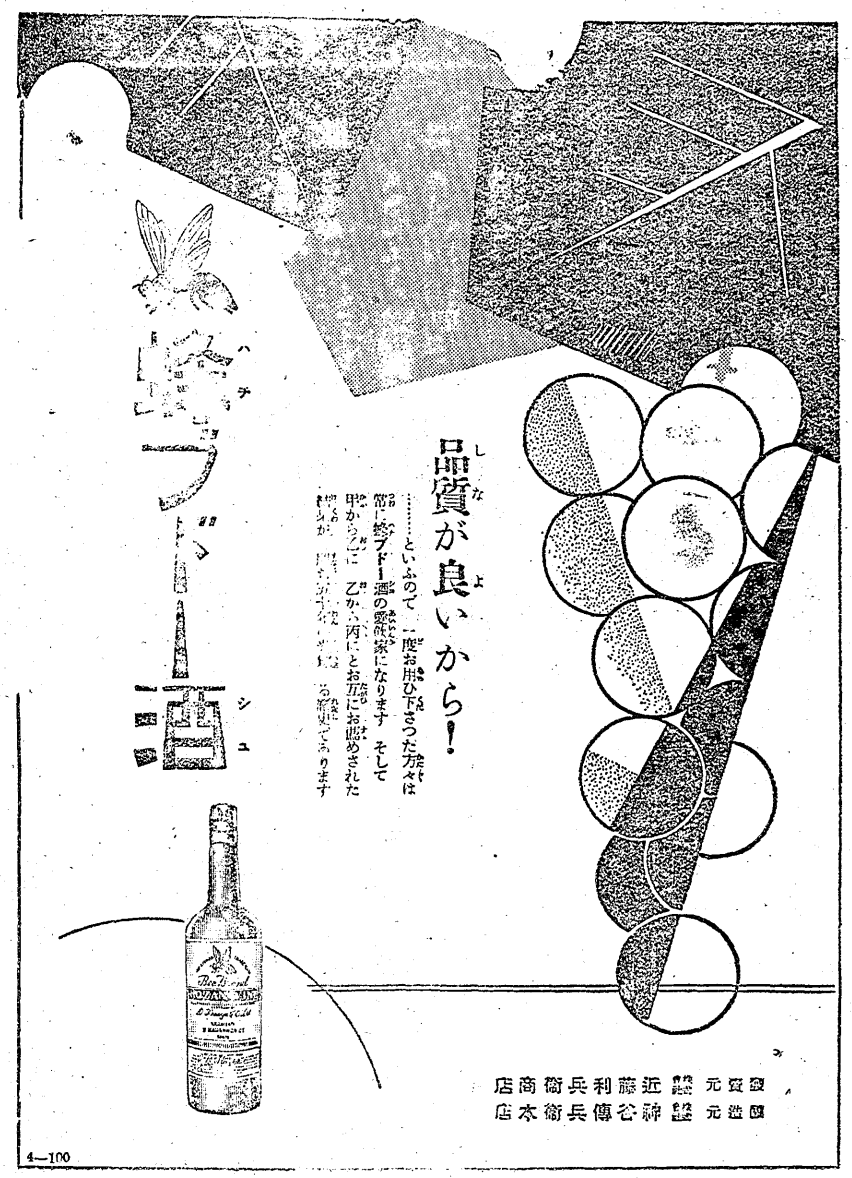
美味にして強壮の効著大
血をふやし肉を肥やす
滋强薬
スポン飴
本舗　東京日本橋　禮尾長命堂
全國菓子食料品店

スツポン飴　一圓
スツポン酒　二圓
スツポンヘモグロビン錠　三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

夜診
胃腸科　内科　十二指腸虫病
專門部　内科
梅毒科　淋病　婦人病　皮膚病
專門部　外科
松村胃腸病科醫院
（平南町電話一〇七番）
療問

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

新築落成
耳、鼻、咽喉科
氣管食道科（專門）
平町南町（歯診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり



櫃田水力電氣で一割五分値下げ

大勢に順應した企て　八月一日より實施

石城郡櫃田町櫃田水力電氣會社では昨今各地で電燈料問題が叫ばれてゐる折柄でありそれに圓滿なる需要供給をはかるため同郡下二町七ケ村の供給區域全部につき自發的に來月一日から電燈並びに動力料金を從來より平均一割五分値下を斷行することになり十四日縣保安課を通じて遞信省に屆出た、なほこれに伴ひ休燈手數料は從來の三十錢を十五錢に被損等の電球引替料一個從來三十五錢を廿錢にまた蓄線電球引替料從來三十錢を十五錢にそれ〴〵引下げることになり需要者は非常に喜んでをる昨今各會社とも需要者の値下要求に對し強硬な態度に出てをる折柄今回の同社の自發的値下げ時節柄斯業界に魁けをなしたもので一般から非常な注意を拂はれてゐる

水稲萎縮病　蔓延

赤井村に

石城地方の水稲作は過般螟蛉（青虫）その他害虫が發生その被害は小範圍で驅除豫防し得たが今度は赤井村大字鹽田字北澤地内水稲一町歩が萎縮病が蔓延し殆んど全滅の狀態にありその他町村にもいまだ相當發生してをります〳〵擴大するものと見られ郡農會では十四日青山技師が赤井村に出張驅除豫防を行つたが同時に各町村農會に對し極力驅除豫防方なる樣通告し12

九月初旬執行の兩稅委員選擧に

野心家は政黨員

本稅務署の營業收益所得兩稅調査委員選擧は來る九月初旬執行する事になつたので早くも野心家の策動が行はれ石城政民兩部黨でも夫れが心策を協議されも居、が目下出馬の話題になつてゐるのは純然たる實業家は郡四倉町四倉驛前大浦村總はとんどなくいづれも政黨で調査會を政黨によつて爭ふようになれば徴税の公正を缺き由々しき問題が起るだらうと郡民から大いに疑惑されてゐる

大浦農會共販

石城郡四倉町四倉驛前大浦村總

縣下藥劑師總會

豫期以上の成績で

石城支部が悅ぶ

縣下藥劑師會第五總定時總會は既報の如く十三日午後一時より白河町公會堂に於て開かれた當日根本會長以下幹部の改選が行はれるに付從來石城支部が濱二郡から出でゝ役員の割當數が餘りにも少なかつたので石城郡下明藥會一派が石城支部長山野邊東次郎氏外幹部等は双、相二郡の同志と共に猛烈な運動の結果平町鈴木堅助氏が副會長に山野邊字佐美、瀬尾の三氏が評議員に決定したので同會に於ける我が明藥會の勢力をこゝに一層增大するを得た尚昭和六年度の同會總會は平町で開く事となつたと

平町の徴兵延期

三十名

平町で兵役法第四十一條により徴集を延期されたる者二十名にして次の如し

野口剛、中野大次郎、湊繁雄、鈴木定光、立原一夫、賀澤貞雄、石川一郎、長澤悌六、加茂多良二男、宮川知典、平澤勝男、新妻芳夫、小齊泰雄、谷口考雄、山口忠剛、金成勇夫、鳥海榮一、端山勇、木澤一郎、中野喜一、鈴木新右工門、吉田部一男

生物學から觀た親の任務（二）

岩崎生

鷄の種類中にアンダルシ種により生れる子は少産性ヤンとなるのがありますが、此のものには又羽毛の藍色の種類のものもあります。然るに之と反對に兩親を取換ると其の子は多産性となる。此の藍色種間の交雜には羽毛の藍色のもの以外に藍色のものと白色のものと生ずる。更に小さな虫での例を擧げますと、蛹で姫蛹と云ふ身體に班紋の殆んどないものと、筆でかすつた樣な飛白班紋の飛白蛹と云ふのがあります。

又同じく鷄の種類に多産性のものがありますが、此の多産性の雌と他の種類の低い親との雜との間に交雜を行ふと、如何に淘汰してゐる藍色種のみを選ぶことは出來ませんでしたが、是れは次の如き關係を有するのであります。

尚ほ甚だしいのは丈けの身體に班紋の殆んどないものと、筆でかすつた樣な飛白班紋の飛白蛹と云ふのがあります。

又同じく蛹の種類に多産性のものがありますが、此の兩親より生ずる子は親と全く異れる形蛹が生ずる